

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|---|--------------|
| ○事業所名 | 杜のつぐみ療育園 荒井園 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 2月 3日 | | 2025年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 7 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 2月 3日 | | 2025年 2月 14日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 7日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 職員の有資格および経験を活かした、専門的な支援を5領域に沿って行えている | 詳細に評価ができるツールを作成し、会議などでプログラムを検討するなど、各個人の特性に応じた支援が行えるようにしている | 定期的に再評価を行い、成長に合わせたプログラムを組みをするなど、支援内容について再検討していく取り組みを行っている |
| 2 | 個室があることで、注意が逸れることなく課題に集中できる設備が整っている | 教材などを別室に保管し、必要な教材のみを準備してから実施をすることで注意が散漫になることを防いでいる | パーテーションの開け閉めなどに注意が向いてしまう児童もいるため、パーテーションを固定するなどして開閉に注意が向かないような工夫をしていく |
| 3 | 予定表や時間割などメリハリをつけた療育を提供することができており、集団生活での切り替えなどに寄与できている | 状況理解などを促し、その状況に沿った行動が行えるよう都度声かけを実施している | 視覚や聴覚的な情報提示などを駆使し、より状況理解を容易にすることで、環境や状況に適した行動が取れるような補助をしていく |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 職員の入れ替えなどが定期的にある | 特性把握の不十分さなどによる職員の技能の習得速度が遅いため、定着しないことが要因として考えられる | 利用児童の特性を詳細に把握するため、活動の様子などをアセスメントと照らし合わせ、対応職員へのフィードバックを常に実施することで、技能習得をいち早くできるような職員への指導体制を確立していく |
| 2 | 紙ベースでのやり取りをしているため、日々の写真などを提供できず、保護者様が活動の様子などを把握しにくい状況になっている | データなどでやり取りをするツールがないことが要因であると考えられる | 写真データなどを提供できるツールを導入し、活動の様子などを提供できるよう検討していく |
| 3 | | | |